

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東北)	◎	衣料品専門店（店長）	・前年も卒業式や入学式の頃に新型コロナウイルス感染が拡大して中止になるなどしたが、今の報道をみる限りでは第6波はある程度時間が経過すれば落ち着くとみられており、卒業式、入学式の中止はないという見方をしている人が多い。よって、フレッシュマン、卒業、入学の客は順当に来店し、前年より良くなるとみている。
	○	商店街（代表者）	・現在の新型コロナウイルスの影響が薄れ、その分消費が戻り、徐々に良くなっていくとみている。
	○	商店街（代表者）	・コロナ禍における過ごし方が少しずつ身についている。一時落ち着いている間に活動的になるとみている。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスオミクロン株のピークアウトにより、再び外出する機会が増え、消費が上向くと考える。
	○	百貨店（買付担当）	・新型コロナウイルスの感染状況による。感染が下火になれば入学式、卒業式、冠婚葬祭などの行事を中心に動きが期待できる。
	○	百貨店（経営者）	・3回目のワクチン接種や経口薬などにより、新規感染者数は新年度までには落ち着き、春物消費の最盛期には活発に動くと期待している。
	○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況から、飲食店への出入りは抑えられ、ますますスーパー業界、当社に足が向くと予想している。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス終息の見通しは立たないことから、当面は現状と同様に来客数の横ばい若しくは減少を単価でカバーする状況が続くと推測される。
	○	コンビニ（エリア担当）	・コロナ禍次第ではあるが、人流を含め回復基調にある。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、春らしくなってくれば、少し上向きになることが期待できる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株は重症化しにくいという話を聞くので、今後は少し伸びるとみている。
	○	住関連専門店（経営者）	・3か月先は新型コロナウイルスオミクロン株が下火になることが見込まれる。また、春の暖かさがやってきて、人々の消費意欲は上昇する。新型コロナウイルスによる閉塞感の反動が出てくるとみている。
	○	その他専門店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株のピークアウトを期待している。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・まん延防止等重点措置に加え緊急事態宣言などが発出されれば、人々の動きは一気に停止してしまう。諸外国を見てもこれほど厳しくしている国はない。これ以上影響を受けるのは本当に厳しい。特に飲食店に卸している会社にとっては死活問題である。この先新規感染者数は劇的に減ると予想しているので、それでまた持ち直してくれればと願う。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着くことが大前提であるが、春に向かって消費マインドはかなり上向くとみている。
	○	高級レストラン（支配人）	・予約状況は団体が落ち込んで、少人数の利用が何とかある程度である。来客数は新型コロナウイルスオミクロン株の拡大に比例しており現在は少なくなっているが、2～3か月先についてはやや良くなるとみている。
	○	一般レストラン（経営者）	・気候も少し良くなるので、新型コロナウイルスの第6波が収束し、客が少し戻ってくれることを期待している。
	○	一般レストラン（経営者）	・今月がひどすぎるので、ここまで落ち込むことはないとみている。
○	観光型旅館（スタッフ）	・ワクチン3回目の効果とピークアウトにより、ゴールデンウィークには来客数が戻ることを期待したい。	
○	通信会社（営業担当）	・今回の感染拡大はピークアウトも早いといわれているので、新生活が始まる春頃には、再び経済活動も回復して市民生活も活発になっていることを期待している。そうなれば、キャンペーンや訪問活動も可能になっているので、現状よりは良くなるとみている。	
○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株も落ち着くとみている。春になると出歩く人が増えるので期待している。	

○	観光名所（職員）	・団体の予約が減り、その分を振り客がカバーをするという状況が続いている。まん延防止等重点措置が解除されれば、団体客が増える動きに変わり、やや上向きになってくるとみている。緊急事態宣言の状況下に比べると、まん延防止等重点措置の状況下の方がやや良い感じである。
□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・新刊点数の減少や相次ぐ雑誌の休刊もあり、大きく変わることはない。商品及び売場の付加価値の創出により切り抜けていこうと考えている。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加が続き、現在品薄となっている新型コロナウイルス関連商品が今後も入ってくることを前提にすれば、今のやや良い状況が続くとみている。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・政府の積極的な経済対策、各種給付金によって経済は支えられている。新型コロナウイルス感染症についても治療薬の開発等、終息への道筋がみえてきた。全面的な経済活動の再開も視野に入ってきたとみている。
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染の拡大で地方でも非常に活動しにくい状況が続いているので、2～3か月後は見通せない。
□	百貨店（営業担当）	・外的要因の影響は受けるが、来客数の動向は今月と大きく変わらないとみている。
□	スーパー（経営者）	・2月も新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加が続けば、経済活動は停滞するとみている。また、原油価格の高止まりと円安の影響は製造・物流・販売のコストアップにつながり、これからも価格転嫁が続くとみている。賃上げを期待しているが時間を要する。補助金や給付金の申請も始まったようだが、事業継続・収益改善には今しばらく厳しさが続く。景気回復には時間を要するとみている。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増で内食需要が高まるとみているが、商品の相次ぐ値上げで客に節約の傾向も現れている。この状況は続くとみている。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株が沈静化するまでは、内食需要は高まり客単価は上がるが、来店頻度の低下が心配される。
□	スーパー（企画担当）	・食品小売業では今もまだ内食需要が続いている。景気はまだ変わらないようであるし、新型コロナウイルスもまだまだ終息しそうでないので、今までどおりの状況が続くとみている。
□	コンビニ（経営者）	・雪は解け、客足は多少戻るが、除雪代の支払は残る。客がリモートや巣籠りに慣れつつある以上、売上が上がる期待も持てない。新型コロナウイルスもどうなるか分からず、希望もない。
□	コンビニ（経営者）	・感染者が拡大しているため、人々が行動を自粛し始める。
□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少し人の動きが活発になれば、経済的にも変わってくるが、今後どうなるかは不透明である。前年のGo To Travelキャンペーンのような、国民が安心して活動できる施策が国から出るまで、変わらないとみている。
□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株がどのように動くか読みきれない。
□	コンビニ（店長）	・当県はまん延防止等重点措置の適用を要請せずに新型コロナウイルスオミクロン株を乗り切ろうとしており、今後新しい変異株が出てもそれほど慌てることなく経済を回すことができると考えている。一部の業界は厳しいと思うが、元々厳しかったところに新型コロナウイルスの影響が重なっただけであるということが分かった。よって、それほど慌てる必要はなく、このままでいくとみている。
□	衣料品専門店（経営者）	・前月までは新型コロナウイルスの新規感染者数が減っていたが、今月に入り県内でも新型コロナウイルスオミクロン株の感染が多発している。それにより、人出が激減し来客数も減少しており苦慮している。
□	衣料品専門店（経営者）	・現在の売上の中心である高額品のニーズは今後も落ちないと予測する。
□	衣料品専門店（店長）	・感染状況が落ち着けば消費は戻ってくるとみているが、現段階では増減を繰り返しており、この先も余り変わらないと予想している。
□	衣料品専門店（総務担当）	・第6波の拡大がどこまで続くか分からず、来客数は更に減少するとみている。

□	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数が増えるかどうか次第である。
□	乗用車販売店（従業員）	・報道のとおり部品供給が改善されているならば、新車の配車が増加し売上も伸びるとみているが、新型コロナウイルス新規感染者数の増加の現状を考えると、決算時期ではあるがさほど増加は望めない。
□	乗用車販売店（店長）	・再々にわたる車両生産工場の稼働停止で、回復基調にあった新車納車がまた滞る予想となっている。幸い客足は前年以上になっているためバリューチェーン領域の売上確保で何とか前年収益を維持している。
□	自動車備品販売店（経営者）	・除排雪関係業者は仕事量が多くなっている。しかし、コロナ禍で地域の新規感染者数も増えているなか、卒業式や謝恩会、各歓送迎会等の中止が予想されるため、プラスマイナスで変わらないとみている。
□	住関連専門店（経営者）	・受注生産なので受注量は確定しており、今のところそれ以上のプラスアルファは望めない。
□	その他専門店〔靴〕（従業員）	・第6波が沈静化するのを待つしかない。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・回復の兆しがみえない。当面は変わらないとみている。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加があるが、家庭用灯油については余り影響をうけることなくこのままのペースで推移するとみている。
□	高級レストラン（経営者）	・2～3か月先には新型コロナウイルスオミクロン株の感染も収束して少し良くなると思うが、その次が来ることも考えられるので何ともいえない。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。11～12月は新規感染者数の減少とともに来客数が増えたので、感染状況が落ち着けば増えると思われている。
□	タクシー運転手	・一般人の3回目のワクチン接種は始まっているが、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少して一定期間が経過するか、予防薬ではなく治療薬が広まらない限り、人出は期待できない。
□	通信会社（営業担当）	・好転する材料が見当たらないため、現状が継続すると予想している。
□	通信会社（営業担当）	・2～3か月先も、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で落ち込んだ景気はまだ回復しないとみている。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
□	住宅販売会社（経営者）	・受注予定は確保しているが、年度内の完成が難しく、決算額に反映できない。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染者が日々増加しており、収束の兆しがみえず春先にかけても景気は低迷するとみている。売上が低迷し3月に閉店する店舗も出始めている。
▲	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が営業に影響を及ぼしているなかで、燃料費も高騰し、商品もほとんどが値上がり傾向にある。厳しい状況が続くとみられる。
▲	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がピークアウトになる時期によるが、現状は新型コロナウイルス感染が拡大傾向となっており更に来客数が減少する可能性が高いとみている。しかし、以前のような単籠り需要に転じる可能性もある。
▲	スーパー（営業担当）	・このまま新規感染者数が増加すれば経済環境にも影響する。また、価格高騰、原油高による値上げなどが消費活動に大きく影響するという心配もある。
▲	コンビニ（経営者）	・最終週に急に来客数が激減している。新型コロナウイルスオミクロン株の流行が身近に迫っている感じがあり、月初め、中旬とは動きがガラリと変わってきた。当県における新型コロナウイルス新規感染者数も大分増えており、新型コロナウイルスのニュースが流れ始めた途端に客足が途絶えている。景気は下向きに変わったとみているが、この先の動向は新型コロナウイルスの感染状況次第である。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、売上、来客数が低下するとみている。マスクを着用せず入店する客も増えている気がする。
▲	コンビニ（エリア担当）	・引き続き、新型コロナウイルス第6波の影響が出る。

▲	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株が感染拡大していることで外出自粛が増え、来客数が大幅に減少している。
▲	家電量販店（店長）	・子育て世帯への臨時特別給付の給付効果がなくなってくる。原油高でガソリンや灯油の値段が上がったことにより実質賃金が下がっており、家計に影響してくる。物価高の意識が客に悪影響を与えるとみている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス新規感染者数が増加しているため、前年同様時短営業等で影響が出てくるとみている。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・飲食店の営業時間を短くしたり、休業にするという動きがあるため、需要が喚起されない。世間の動きに合わせて、客の経済活動は衰えたままである。
▲	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染が収束しない限り、先が見えない状況が続くとみている。
▲	観光型ホテル（スタッフ）	・濃厚接触者、感染者への対応を変えないと客が動かない。
▲	観光型旅館（経営者）	・新規感染者数が増加傾向にあるので予測しにくい、減少するまでは自粛傾向は避けられないとみている。
▲	タクシー運転手	・年配者への3回目のワクチン接種が早急に終了することを願っている。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染ピークアウト後の経済立て直しはゆっくり進むと考えられる。消費拡大するにも原資が見当たらないため、やや悪くなるとみている。
▲	通信会社（営業担当）	・物価上昇の影響が徐々に出てきて、景気は悪くなるとみている。
▲	競艇場（職員）	・現在新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているため、来客数が増えることはないともみている。
▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響は3～4月頃まで続くとみている。
▲	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・給湯器の納品遅れは長引くことが予想され、予約注文となっている。給湯器以外にも納品遅れが出てくるとみている。
▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・今後も、新型コロナウイルスの感染拡大が収束を迎えるまでは、来場者数の減少を予測している。
×	商店街（代表者）	・感染が拡大している新型コロナウイルスオミクロン株の状況次第である。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るい、まん延防止等重点措置が適用されることになっている。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、現在の悪い状況が続いていくので、将来の景気の見通しは立てにくい。
×	一般小売店〔酒〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用され、更に消費者の出控えは強いものとなっている。先行きが全く見通せない現状では、経済は悪くなるとみている。
×	スーパー（経営者）	・コロナ禍により社会的、経済的制限が更に強まり、閉塞感がまん延し、なかなか消費マインドが上がってこないともみている。
×	コンビニ（経営者）	・当地でも新型コロナウイルス新規感染者数が増えて、この先どうなるか正直分からない状況である。
×	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の新規感染者数増加により、客の外出自粛の傾向が顕著になっている。
×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスに振り回されて、これ以上飲食店に影響が出続けると回復不可能になりかねない。また、店頭販売での一般客も徐々に疲弊して酒類の購入を控えているように見受けられる。
×	一般レストラン（経営者）	・受験シーズンの絡みもあり、たとえ新規感染者数が落ち着いても再発防止に気持ちが悪く。当面は危機感をもつての行動になり、不要不急の行動を控える動きが続くとみている。よって、新シーズンを迎えるまでは景気は最悪の状態を維持すると予想する。
×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大が落ち着かない限り、個人・団体旅行共に新規申込みがない状態が継続するため、旅行・観光業界における景気は再び悪化する悪循環に突入している。
×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が更に拡大しており、まん延防止等重点措置の適用範囲が拡大傾向にある。

	×	旅行代理店（従業員）	・向こう1か月少々は感染拡大に伴い需要の谷を迎えていくことになるかとみている。一方で、感染が収束することで需要が回復し、さらに、各県民割やG o T oキャンペーン等が再開することで需要が爆発することへの期待もある。
	×	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況次第であるが、ガソリン価格やその他の物価上昇も影響しそうで、厳しい見通しである。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・感染者も濃厚接触者も社会復帰できるまで2～3週間が必要であり、欠勤者が増えて事業継続にも支障がある状態である。中小企業への緊急の経済支援が望まれる。
	×	設計事務所（経営者）	・年度末を迎え工事が完工するタイミングだが、給湯器や便器など、半導体不足に伴い一部機器の納入遅れが報告され、引渡しが遅延となる事案が発生した。引き合いのあった施主より、部材の品薄に伴う工期の延長や部材の高騰を心配する声を聞くようになり、建設時期の見直しを実行又は検討する施主が増えている。
企業 動向 関連 (東北)	◎	*	*
	○	食料品製造業（製造担当）	・3回目のワクチン接種により、春先には客足が伸びるものと予想される。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度末の仕事が入ってくることと、新型コロナウイルスオミクロン株が収束することを期待している。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・取引先において、2023年度以降に既存設備の運転再開予定があり、当該設備の長期安定運用に向けた予防保全や各種事前点検が増加すると予想している。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・工場の稼働状況はまだみえていないが、生産設備停止中の自動化設備の改善、改造等の情報や引き合いがあり、現状よりは良くなる方向に動く見込みである。
	○	建設業（従業員）	・新年度にかけて生産施設関連の大型受注が見込まれており、景気の上向きが期待できる状況となっている。
	○	通信業（営業担当）	・半導体不足の影響が徐々に解消し、受注に対して商品を提供できるようになる。
	○	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株による第6波の鎮静化により、経済活動が回復するとみている。
	○	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・第6波が収まることで、反動として消費が増えるかとみている。
	□	農林水産業（従業者）	・前年の果物の販売単価は、全般的に例年よりも1～2割高かった。一方で、農機具等の整備点検を業者に見積もってもらったところ、今年は1～2割程度値上がりしている。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスに振り回される状況からの脱却は難しく、イタチごっこのような経済状況は今しばらく続くとみている。マスクが外せるようにならないと景気回復は望めない。
	□	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスやウクライナの状況により変化することが見込まれるので判断が難しいが、業界内では何とか現状を維持するべく努力が続けられる。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	・新製品の開発から納品のスピード及び頻度に大きな変化はない見通しである。半導体関連のマンパワーが国内で不足しており、需要は相変わらず高いが、景気に大きく影響を与えるほどには至っていない。
	□	建設業（従業員）	・冬季は工事案件が少なく、先が見通せない状況である。
	□	通信業（営業担当）	・客の反応は今後も厳しい状況が続くとみられ、リモートに特化した対応でつなぎ止めるしかない。
	□	広告業協会（役員）	・G o T oキャンペーンが再開し、イベントの参加人数制限が撤廃される状況になれば広告業界全体の底上げになるが、前年同様に感染者の波が来るようでは、新型コロナウイルス発生前の実績に戻るのには難しい。
	□	司法書士	・現状コロナ禍の影響はさほどなく、景気を左右する要因が乏しいため、現状で推移するとみている。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がこれからも続き、温泉街や観光客向け飲食店への集客が滞することが考えられる。交流人口増を掲げる街の方針にも大きなマイナス要素となっていることから、景気の先行きには暗い影が見え隠れする。
	□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・見積り、受注案件は底上げ傾向にある。しかし、急激な資源高及び供給抑制が、原価増及び仕掛増につながっており、収益と資金繰りを圧迫し始めている。

	▲	食料品製造業（経営者）	・新規感染者数が減らないと厳しい。
	▲	食料品製造業（営業担当）	・回復の兆しがみえていた年末年始だったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染者数急増により、状況が一変してしまった。2～3か月後も予測不可能で、景気はやや悪化するとみている。
	▲	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大もさることながら、当社にとって現時点での大きなマイナス要因は原油価格の高騰である。原油市場の取引価格をみても高止まり状態が続くことが予想され、更なる高騰も十分あり得る。景気動向については悲観的な見方をせざるを得ない。
	▲	広告代理店（経営者）	・このまま感染拡大が収束しなければ、更に悪化する見通しである。
	▲	経営コンサルタント	・東北地方も今後、まん延防止等重点措置が適用される地域が増え、ますます景気の低迷が進むと予測している。
	▲	公認会計士	・現在、新型コロナウイルスオミクロン株が流行しており、まん延防止等重点措置が適用されている県が出ている。これを考えると再度小売、サービス、飲食関係の売上が落ちると予想される。この第6波が収束しない限り、景気回復は難しいと予想する。
	▲	コピーサービス業（従業員）	・半導体生産の遅れの影響が年度末の入札案件に響いている。指名停止の可能性もあるので、入札は慎重にならざるを得ない状況である。場合によっては例年より辞退する案件が多くなることが予想される。
	▲	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・景気は新型コロナウイルスの感染状況でどうにでも変わる。感染状況が収まってくれば景気は良くなっていくし、今より新規感染者数が増えると景気はますます悪くなる。
	×	農林水産業（従業者）	・肥料や農薬の価格高騰により収益が圧迫されると予想している。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・生産に必要な原材料の価格高騰が続いている。生活面でも値上げラッシュが続いており、賃金上昇が望めないなかで景気は悪化するとみている。
	×	金融業（広報担当）	・当県初のまん延防止等重点措置適用となり、対象地域の人通りは昼夜問わず激減している。濃厚接触者の隔離によって経済活動に影響が出ることが考えられる。また今後、まん延防止等重点措置の適用範囲が県内全域に拡大する可能性は否定できない。前向きな要因は見当たらない。
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で対面での商談を控える動きは少し高まっているが、Webツールへの置き換えなどが前年にかけて進んだ結果、大きな影響はないと考えている。今後も良くなっていくと想定している。
	○	職業安定所（職員）	・新規求人数、有効求人数共に9月以降、前年同月を上回っており、今後もこの傾向はしばらく続くとみている。
	○	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第のところもあるが、製造業で人材を求めている状況は変わらないと見込んでいる。
	□	人材派遣会社（社員）	・現在の新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るっている状況を鑑みると、人の動きが抑制されており、今よりも良くなるとはいえない。ただ、経済活動をやめていない企業が多いので、求人活動も今までどおり行われている。新しく求人活動を始める企業は少ないかもしれないが、現状維持の状況が続くとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・現状で求人数などに大きな動きがないため、景気はそれほど変わらないとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大が、先行きの見通しを分からなくしている。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況から、2～3か月先のイベント開催に関して慎重になっている。オンラインイベントへの切替えならまだしも、延期、中止という選択が増えている。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県独自の緊急事態宣言が出ているが、解除されても数か月間は外食や旅行などに対する消費は抑制される。また、中止・延期されたイベントを開催するまでには至らないとみている。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響も薄く、当面人手不足の状況は続くともみている。

□	職業安定所（職員）	・原油価格の高騰、不安定な海外サプライチェーン、新型コロナウイルス感染症の第6波の影響で、足踏み状態あるいは後退にならないか心配である。
▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延とそれに伴う経済活動の停滞や、ウクライナの国際不安など景気を下振れさせる要素が多い。実際に新型コロナウイルスオミクロン株に起因していると思われる求人見送りなどの声を聞くようになってきている。
▲	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るっており、先が全く見通せない。イベントも中止になっている。
▲	職業安定所（職員）	・企業からの求人数が増えており人手不足感が強くなっているものの、それに応じる求職者の動きが鈍く、採用者が増えていない。さらに、新型コロナウイルスオミクロン株の影響により面接に応募する人の動きは弱くなっており、一層厳しい状況となっている。
▲	職業安定所（職員）	・感染拡大が続く中で、好転する理由が見当たらない。
▲	学校〔専門学校〕	・北東北地方の感染ピークは首都圏よりも遅れてくることが想定される。また、新規感染者数がどこまで増加するか、医療体制がどこまで持ちこたえるかによるが、当県ではこれまでなかったまん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出の可能性が少なからず出てきている。
×	アウトソーシング企業（社員）	・ワクチンの効果もなく新型コロナウイルスの新規感染者数が増え続けているため、出口がみえない。